

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● HPV-RNA 高リスク型 / TMA

(依頼コード No.12904)

受託開始日 2017年1月5日(木) 受付分より

現在、様々なHPV-DNA 高リスク型スクリーニング検査が利用されており、弊社でもハイブリッドキャプチャー法およびInvader法により高リスク型HPVのDNAを検出する検査を実施しております。従来のDNA検出法は単にHPVの存在を捉えていました。しかし、HPV感染のほとんどは一過性で、感染者の免疫系の働きなどにより自然消失してしまうため、感染の有無だけでは過剰診断になる恐れがありました。

本検査で検出するE6/E7 mRNAは、HPVが子宮頸部細胞に持続感染している場合に多く発現しており、子宮頸部細胞のがん化に関与する可能性が多数の論文で報告されています。

本検査は、細胞のがん化に関与する高リスク型HPVのE6/E7 mRNAを検出する第三世代のHPV検査であり、DNA検出法と比べ、感度は同等にも関わらず、高い特異性を有する優れた特長を持っています。

●当該検査の受託開始に伴い、現行のHPV-DNA高リスク型/Invader(依頼コード 単独依頼 No.7119、セットコード① 9167、セットコード② 9168)は2017年3月31日(金)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

なお、同検査で使用しております体外診断用医薬品「インベダー Cervista HPV HR」(ホロジックジャパン)は、2017年3月末をもって販売中止となります。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book

電子カルテはビー・エム・エル

**Qualis**
Medical Station

受託要領

依頼（報告） コード No.	12904
検査項目名	HPV-RNA 高リスク型 / TMA
統一コード	5F101-1405-085-886
検体必要量	患部擦過物
容器	LBC (シンプレップバイアル)
検体の保存方法	室温
所要日数	3～5
検査方法	TMA法
基準値	検出されず
単位	なし
報告範囲	「検出されず」あるいは「陽性」 高リスク型HPVである 16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 66 および 68 型の 14 種類のいずれかが検出された場合、「陽性」でご報告します。
備考	本検査では型判定はできません。 同一検体で婦人科液状化検体細胞診と HPV-RNA 高リスク型 / TMA を共用依頼される場合は以下のコードでご依頼ください。 ① 同時依頼の場合 依頼コード No.77179 ② 細胞診結果が ASC-US の時のみ HPV-RNA 検査を追加する場合 依頼コード No.77180 なお、ご依頼の際は専用依頼書 (LBC・HPV-RNA 検査依頼書) をご使用ください。
検査実施料 / 判断料	360 点 / 150 点 (微生物学的検査) 予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上 ASC-US (意義不明異型扁平上皮) と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。 細胞診と同時に実施した場合には算定できない。

【参考文献】

Heideman, DAM. et al.: J Clin Microbiol. 51(11), 3653-3657, 2013.